



法曹 燈洞 五百格地  
曹宗 宗格地

# 仁叟寺



山門



文殊堂



県指定天然記念物 カヤの木



本堂



十三重石塔

一五二二年(大永二年)開山、約五百年の歴史を有す。竹林・庭園・墓地など緑あふれる広大な境内に二十余の伽藍を記した荘厳な古刹。  
中国仏教の聖地五台山顯通寺と友好寺院を締結し又殊菩薩の分身を迎えた。本堂や諸堂には、本尊釈迦如来・墨髻如来・千手観音菩薩・地藏菩薩などが祀られ、室町時代より奥平公・小幡公・菅沼公・長谷川公・満口公など時の城主・領主の帰依し手厚い保護を受け、兵火等にあつことなく、明治二十二年に古刹寺保存指定を、現在は町文化財に指定され今日に至つてゐる。恒例の除夜会、節分会・大般若会・花まつり・坐禪会等の様々な年中伝統行事には大勢の参拝者で賑わい、つねに訪れる人が絶えない。

## 檀信徒募集 仁叟寺墓地分譲 <67区画>

● 3.3尺×4.1尺 15区画  
(100cm) (125cm)

● 6尺×6尺 34区画  
(180cm) (180cm)

● 6尺×9尺 17区画  
(180cm) (270cm)

● 9尺×9尺 1区画  
(270cm) (270cm)

鉄筋を充分に入れた分厚いコンクリートの強固頑丈な基礎工事が完了しています。



お問合せ

やすらぎあんしん 仁叟寺

〒370-2123  
群馬県多野郡吉井町神保1295  
TEL.027-387-3080  
FAX.027-387-8766

e-mail:jinsouji@dan.wind.ne.jp  
URL:http://www7.wind.ne.jp/jinsouji/

3月18日～21日～24日 **春の彼岸**

春は牡丹餅(ぼたもち)秋はお萩(おはぎ)と呼ばれ、まず仏様に供えて、墓参を済ませてからいただく。牡丹餅も、お萩も同じ食べ物ですが、季節によって呼び名が異なるようです。祖母や母が心を込めて作ってくれた味が、最高の美味しさです。

「暑さ寒さも彼岸まで」  
春3月18日が彼岸の入り、24日までの一週間を春彼岸と言います。なか日をお中(おちゅうにち)と、また「春分の日」とも言います。

仏教で私達の住む世界、怒り、愚かさ迷いの世界を「此岸(こがん)」と呼び、亡くなった人々が此岸を離



れ到達する仏の悟りの世界を「彼岸(ひがん)」といっています。

ご先祖様の徳と苦勞をしのび、健康で暮らせる毎日に感謝し、更なる精進を勧め、静かに自分を振り返る一週間であります。

彼岸には太陽が真東から昇り、真西に沈む。その方向に向かつて念仏すれば、必ず極楽に往生ができ、此岸から彼岸に達すると言います。

つまり、迷いと悟り、この世とあの世が接する日であると言われてるようです。

墓石をきれいに洗い、お花や線香、お水を手向け家庭では仏壇を掃除し精進料理と牡丹餅を供え、故人の好物だったものを添えます。感謝と報恩の心豊かな時をすごしたいものです。

**花祭り**



**日時**・四月八日(日) 午前十時から午後四時  
**場所**・吉井町神保二二九五 仁聖寺大本堂  
**内容**・一、灌佛会  
小さなお誕生お釈迦様に甘茶をかけ、すこやかな成長を願う。  
二、法話  
大きなお釈迦様誕生絵を見ながら和尚さんのお話を聞く。(五分位)  
三、お土産  
お釈迦様のパンフレット、花の種、甘茶のティーバックセットをおみやげに差し上げます。  
(参加費無料)

四月八日は、お釈迦様のお誕生日で、「花まつり」と呼ばれ、親しまれています。この時期、いろいろな花が咲くことや、お釈迦様がルンビニーという花園でお生まれになったことから、こう呼ばれているのです。

花まつりには、「誕生仏」というお釈迦さまの小さな仏像に甘茶をかけます。これは、お釈迦さまがお生まれになったときに、龍の神様が「お祝いに甘露」といって、甘い雨をふらせたお話になつたものです。

また、誕生仏は花で飾られた小さなお堂にお祭りされます。このお堂は「花御堂(はなみどう)」といっていて、ルンビニーの花園をあらわしています。そこに、右手で天を指さし、左手で地面を指さした誕生仏がおまつりされるのです。

お釈迦さまは、生まれると七歩歩かれ、「広い世界で、この「ほく」はたった一人。だれもかあることができない大切ないのちだから、一生懸命生きるんだ(天上天下唯我独尊)」と言われたそうです。みなさんも、たったひとつの大切ないのちに感謝して、誕生仏に甘茶をかけ、手を合わせましょう。

子どもたちの情操教育のため、又よい思い出づくりのためにもご家族でご来寺いただき広々とした境内にて陽春の一日をお楽しみいただけます。どうぞご案内申し上げます。